

## 研究会活動へのご支援に関するお願い

2026年3月

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

理事長 横田 真

日頃より研究会をご支援いただきありがとうございます。

当研究会は2026年度より、おはなしボランティア「びわの木」の活動の拡大とびわの本文庫関連の活動の拡充を予定しています。

おはなしボランティア「びわの木」によるおはなし会は、2023年度が19回、2024年度が27回の開催であったのに対し、2025年度は37回開催いたしました。従来の県立図書館、市立図書館、特別支援学校に加え、児童医療施設や小学校の児童育成クラブ（学童）、こども園などからの要請が増えてきており、2026年度はさらに増えることが予想されています。対応スタッフとしては、子ども達と直接やり取りできる嬉しい機会が増えることとなりますが、スタッフが現地に赴くための交通費の充当が課題となってきています。

研究会の事務所に付設されているびわの木文庫（児童書蔵書 約5,000冊）はこれまでも不定期に開館・貸出（無料）をしておりましたが、本年1月から毎週土曜日（10時半から16時）に開館し、貸出を実施しております。加えて4月からは、熊本市教育委員会との連携の下、事務所近くの六つの小学校（西原小、託麻西小、月出小、帯山小、帯山西小、託麻原小）の児童育成クラブに蔵書を貸与（無料）する活動を開始いたします。こちらの方でも、児童育成クラブに本を運ぶための交通費に加え、貸出図書の実費のための費用の充当が課題となってきています。

これまでの正会員会費主体の体制では、今後増大が想定される上記費用の充当が難しくなることから、2026年度より、賛助会員（個人）3000円という会員枠を新たに設定し、ご支援を募ることといたしました。賛助会員の方は公開講座、企画講座への無料参加はできませんが、研究会の活動報告などが掲載されている会報（隔月刊）は郵送させていただきます。

つきましては、おはなしボランティアやびわの木文庫関連を始めとする研究会の活動に共感していただけたような方々におかれましては、賛助会員（個人）としての登録についてご検討願います。

研究会としては、幅広い方々にご支援いただけるに足る活動を今後も展開してまいります。また、将来的には、寄付に対する減免措置を提供できる認定NPO法人の資格の取得も目指します。

以上